

県西11市町と 災害時の応援協定を締結

地震、水害、竜巻と、災害はいつ、どんな形でやってくるかわかりません。市ではもしも!?の災害が発生したとき、県西地区11市町と相互に協力して応援しあう「県西都市間における災害時相互応援に関する協定書」を締結しました。災害が広域化・大規模化し

ていることから、県西市長会が隣接する3町にも呼び掛けられたもので、地域での協力体制をより強固にすることで災害時の復興が迅速化できることが期待されます。協定に参加したのは坂東市のほか、古河市・結城市・下妻市・常総市・笠間市・筑西市・桜川市の8市と、八千代



▲災害時相互応援協定を締結した県西11市町長のみなさん

交通網の整備推進のために

東京直結鉄道茨城県誘致促進協議会 茨城県西縦断道路建設促進協議会 県西6市町で設立

町・五霞町・境町の3町、計11市町で、食料などの生活必需品や資機材・車両の提供、職員の派遣、ボランティアのあつせん、避難が必要になった場合の避難民の受け入れなどが盛り込まれています。今後、具体的な計画を練り、広域での災害対策を進めていきます。

東京直結鉄道は、平成12年の運輸政策審議会答申で地下鉄8号線(有楽町線)の野田市までの延伸という形で、平成27年までに整備に着手することが適当である路線として位置付けられています。この鉄道の坂東市、下妻市方面への延伸を実現しようと、県西地区6市町(坂東市・筑西市・桜川市・常総市・下妻市・八千代町)で東京直結鉄道(地下鉄8号線)茨城県誘致促進協議会を設立、吉原市長が会長に就任しました。

部、茨城県西南部の商工会議所や商工会の青年部、自治体が一体となって誘致活動を展開してきましたが、平成27年ごろに策定が予定されている首都圏地域のマスタープランで整備が位置づけられるよう、運動を展開していく予定です。また、6市町は併せて茨城県西縦断道路建設促進協議会を設立、吉原市長が会長に就任しました。整備予定の東埼玉道路・庄和インターチェンジから圏央道、北関東自動車道を結ぶ地域高規格道路の建設促進に向けた取り組みを推進していく予定です。

東京直結鉄道(地下鉄8号線)茨城県延伸及び(仮)県西縦断道路ルート(イメージ図)

